

米金利引き上げ局面における株価の動きは？

Raku
Yomi

楽読(ラクヨミ)

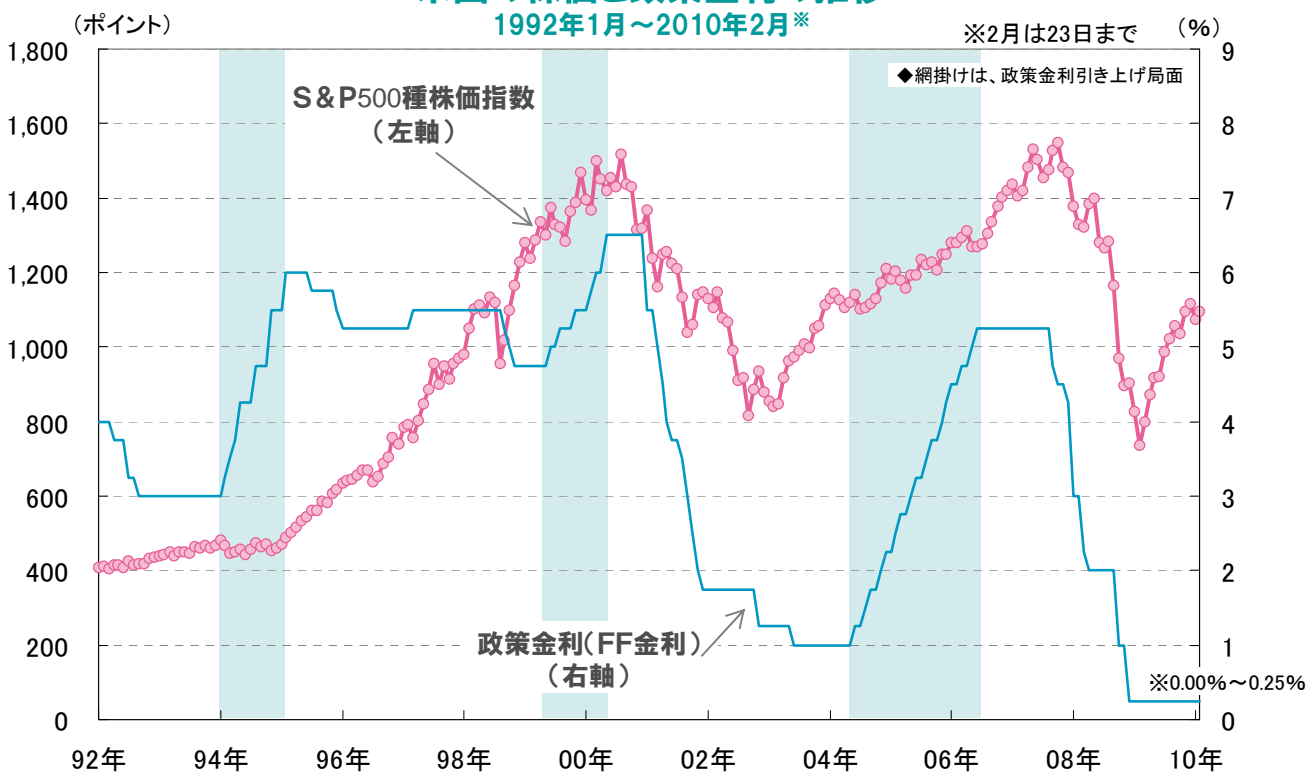
nikko am
fund academy

緊急時の金融政策を通常のものに戻す「出口戦略」に関して、各国中央銀行の舵取りが注目される中、米国では先週、FRB(米連邦準備理事会)が公定歩合の引き上げを発表しました。FRBの声明では、今回の公定歩合引き上げは金融引き締めを意味しないとの見解が示されましたが、公定歩合引き上げによって「出口戦略」が一步進められたことや、将来の政策金利(FF金利)の引き上げなどが意識され、金融市場は一時、神経質な展開となりました。

過去の米国の株価と政策金利の動きを振り返ると、金利引き上げ局面では株価が上昇傾向となり、引き下げ局面では株価が下落傾向となる動きがみられました。一般的に、利上げが実施されるのは、経済が好調な時であると考えられます。そのため、金利引き上げが短期的には株価にマイナスに働く場合もありますが、適度な金融引き締めは景気過熱やインフレを抑制し、中長期的には景気拡大と株価上昇につながると考えられます。

なお、米国は、金融政策の「出口戦略」を一步進めたとはいえ、実際に政策金利を引き上げるにはまだ相当の時間が必要であると考えられます。しかし、米国の景気は回復に向っていることから、そのタイミングを見る上で、雇用をはじめとした経済指標の大幅な改善が鍵となりそうです。

米国の株価と政策金利の推移



※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。